

## 末広地区区民対話会議事要旨

日 時 平成29年11月9日(木) 午後2時00分～午後4時00分

場 所 末広町民館

参加者

〔末広地区〕12名

- ・2地区連協(末広中学校区)各町内自治会長
- ・各種地域団体の代表等  
(地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区青少年育成委員会)

〔事務局〕曾我辺区長

市民自治推進課：竹田課長補佐、須田主査、北田主任主事  
地域づくり支援室：檜木室長、村藤主査、小松

- 1 開 会
- 2 区長挨拶
- 3 第2地区連協会長挨拶
- 4 説明および意見交換

### テーマ①『末広地区の現状と課題について』

- ・末広中学校区の地区別データについて(中央区地域振興課)

地域づくり支援室より資料1に基づき説明

- ・各団体の現状と課題について意見交換(各団体)

- 末広町内会 地区別データについて、当町内会にはワンルームアパートが約150棟あるが、おそらく住人は住民移動の届出をしていないと思われるため、データには入らないのではないかと。
- 港町自治会 同じく地区別データについて、国勢調査の結果とは異なるのか。
- 事務局 国勢調査はそのようなアパートも含めて調査する実態調査であり、地区別データは推移を見るために用意した住民基本台帳に基づくデータですので、おっしゃる通りアパートなど賃貸が多い地域だと実態とは差があります。
- 港町自治会 港町はマンションが多いということもあり、高齢化率は多少低くなっていると思う。近隣の地域と比べても、子ども会のイベントも人を集めやすく、町内会としてまとまって色々な活動ができていないかと思う。しかし、戸建てはやはり独居の高齢者が多いので、見守り活動も検討しなくてはいけないと思っている。
- 長洲一丁目自治会 長洲一丁目は駅に近いため、ワンルームアパートも多く名前もわからない住人が多い。ワンルームの住人はおそらく地区別データの人口にも載っていないと思う。大きいマンションであっても小・中学生はほとんど見ないし、子ども会も休止状態。独居の高齢者については、マンションでも民生委員はある程度把握されているようだ。
- 長洲二丁目町内会 若い人は仕事のために出て行ってしまうため、昔から住んでいる高齢者がとても多い。75歳以上の高齢者は、民生委員の調べでは208人もいる。ワンルームの町内会加入率の問題については、業者と提携しないと難しい状況。県営住宅の跡地に建ち始めている戸建てについては、社協の会員になってもらうのと同時に、町内会に加入してもらう方向で動いている。また、子ども会については、会自体はあるが加入率が低い。親御さんは

寒川一丁目町会	<p>子どもを入会させることは問題ないけど、自分が役員をやることについては後ろ向き。</p> <p>区画整理をやってしまうと町が廃れてしまうという意見があったが、寒川一丁目はまさにその通りだったと思っている。空地が増え、人口構成のせいもあるが町に活気がない。</p>
寒川町二丁目町内会	<p>町内の300世帯のうち半分はアパート。回覧板はアパートにも回している。民生委員が月に1回高齢者の見守りをしてくれて助かっている。子ども会は会長が何年も一人でやっており何とかなっている状態。町内のお祭りやJFE祭りの時は、子どもがいるところにその都度お願いしてやっている。</p>
寒川町三丁目町内会	<p>当町内会では、今年に入って戸建てとアパートの人数が逆転し、アパートの住人が多数派になった。もともとはワンルームが少ない地域だったので、不動産会社は狙ってどんどん建てている。子ども会は加入者が10人しかおらず、親御さんは役員になりたがらない。また、高齢化で空き家が増え、天候が悪いと屋根が飛んで危険である。</p>
稲荷町自治会	<p>5月から初めて会長になり、どの会議も初めてで戸惑っている。子ども会に入会しない人がほとんどで、祭りで神輿と山車をやるにも最低30人は欲しいため、加入していない人にも「お子さんだけでも」と呼びかけたところ、何とか30人集まった。また、神社の境内の掃除を婦人会がやってくれているが、自治会も手伝っており、落葉が大袋50袋くらいになるほど大変である。自治会、婦人会、老人会で協力をしてゴミステーションも回っている。不法投棄の場所が2ヶ所あり、周辺に家がないため通行車が捨てている。防犯パトロールの旗を建てたところ、1ヶ所は効果が出たがもう1ヶ所はたちごっこの状態。活動に若い人も誘ってみるがなかなかうまくいかない。</p>
千葉寺青葉町自治会	<p>会長になり4年目だが、新しい町と古い町が混在しており苦労が多かった。ワンルームアパートについては加入率が非常に悪く、まさに明日不動産会社に交渉しに行く。アパートには世帯数の50%を会費として払うようお願いしているが、下請けだと加入率が下がる傾向にある。自治会で一律70%にしようかと案を模索中。他地域と統一していきたいため、行政の方でもPRしてもらいたいと思う。</p>
末広町内会	<p>町内の世帯数は2,200世帯ほどであるが、町会加入率は半分以下。事務局からの説明の通り、子どもは10町会の中で一番多いが役員の成り手がおらず、子ども会は休止した。今は皆共働きで、土日は家庭サービスが主だろうから、会社で地域活動の時間をとれるように国や市が率先してやらない限り解決できない。町会費は市内の不動産会社からは世帯数の50%分をもらえているので困っていない。また、都内にある会社は（市外ではそうなっているのか）向こうから80%くれることが多い。</p>
民 児 協	<p>高齢者は、ごみ出しや電球の取替えなど、若い人がいればすぐやってもらえるようなことが一人ではできない。月に1,2回訪ねる際に、「何か困っていることはないですか」と尋ねると、買い物頼まれることもある。本当に身寄りのない方への関わり方もそうだが、近くにお子さんがいらっしゃるようなところは、どこまで手を出したら家族の方が気を悪くしないかなど考えると、援助の仕方で悩むことがある。</p>
民 児 協	<p>民生委員として一番心配なのは、高齢者の独居。身寄りがなく、本当に援助が必要な方は103地区で100人弱。社協とタイアップして安心カード（緊急連絡先や親戚等の連絡先が記載されるもの）を作成し、現実に役立ったこともある。空き家については、子どもに引き取られたり、施設に入ったりで増えており、自分の周りだけでも4件ある。また、いきいきサロン（月1回の茶話会や健康体操等）をやっているが、女性ばかりでなかなか男性は出てこない。小学校では少子化に伴い、3クラスを維持するのが難しくなっている。</p>

- 育 成 「各町内会の子ども会を育てよう」という趣旨で、「子ども会育成会」と名前を変えてみたが、なかなか功を奏さない。お子さんを持つ親御さんの自覚の問題もあると思う。昔は200～300人集まったが、今は30人しか集まらない。また、蘇我駅の北口をどうにか作れないか。そうすると、稲荷町も寒川三丁目も末広町も潤う。また、寒川三丁目の警察の施設があったところから保育園のところまでの通学路が狭く、子ども達が傘をさして通るのが大変。皆熱心にやっているが、熱心にやればやるほど活動資金がなくなるとい問題がある。
- 区 長 「おやじの会」からどうにか地域の活動に人を取り込むことはできないか。  
末広町内会 「おやじの会」はたしかに小学校でやっているが、お父さん方は子どもがいるからやっているの、町会の活動にはなかなかかかでてこない。会議には出てくれるけど活動に出てくるのは難しい。
- 区 長 各団体から、色々な課題ということで、特にワンルームマンションの問題、子ども会の問題などお話いただきました。また、空き家に関しては、現在、千葉市では「空き家の実態調査」をやっており、各区での空き家の数を調査し、対策に向けて計画を作っている段階です。また、担い手不足については、全体的に高齢化している状況ですので、就労世代も地域での時間をとれるような仕組みづくりをする必要があると感じます。

## テーマ②『地域運営委員会の設立について』

### ・地域運営委員会の制度概要・他地区の活動事例等（市民自治推進課）

市民自治推進課より資料2に基づき説明

### ・地域運営委員会についての質疑

- 寒川一丁目町会 説明を踏まえて、今の団体に組織がもう一つ増えるということか。  
事 務 局 組織の形態としては、2パターンあり（資料2・P6参照）、1つ目のパターンは、すべての参加団体が構成団体となる組織を新たに設立するパターンであり、2つ目のパターンは、一つの団体が他の団体を包括するパターンです。2つ目のパターンの例として、例えば地区連協の会合に他の団体が加わり、それを地域運営委員会とみなすということもできます。
- 寒川1丁目町会 今どこの団体も手一杯でやっていて、成り手がおらず役員を兼務している状況で、また仕事が増えるということか。  
事 務 局 まずは団体間の情報共有から始めていただくところからスタートしていただいて構いません。各団体が一堂に会して話をしていく中で、実は重複している活動があってそれを取捨選択したり、役割分担をして負担を軽減したり、地域を挙げて解決しなければならない課題について議論していただきたいと考えております。
- 末広町内会 末広地区には社協が2つあるが、社協が全体をまとめるような形でやるとまとめやすいのではないかと。ただ、社協同士の集まりもやっている状況で更に地域運営委員会の会議も増えるとなると、負担である。
- 地区連協 市内49のうち13地区が設立しているが、実際にこのような集まりを何度かやるのか。  
事 務 局 地域によって頻度は差がありますが、ご議論していただいております。構成メンバーも様々で、例えば生浜地区では避難所運営委員会もメンバーに入れ、防災対策についても地域で話し合われています。

地区連協 避難所運営委員会をメンバーに入れることについては、スムーズな避難所運営のために良いことだと思う。ただ、ボランティアでこれだけの時間を割くわけだから、これをやってメリットとか改善点がなにか得られたのか。

事務局 地域運営委員会を設立することが最終目的ではなく、地域の中で課題を共有していただき意見交換するような環境があることが重要だと考えております。

地区連協 課題を共有してお互いに助け合うメリットがあるのがわかるが、具体的に何かあるのか。

事務局 中央区で設立を検討している星久喜地区では、地区連だけでは解決が難しい問題や、もう少し広い視野で地域全体の課題を解決できないかということで、もともと地区連の会議の中に、民生委員などもオブザーバーとして出席する機会がありましたので、それを発展的に地域運営委員会に持っていこうかという流れで進んでおります。また、必須5団体だけでなく、避難所運営委員会もメンバーに入れて来年度の発足に向けて動いています。たとえば、PTAや子ども会さんなど若い方から次の担い手を探すということもできると思いますが、今日のご意見を伺っていると、子ども会にも入らないのでそれも難しいと感じた次第です。

寒川1丁目町会 我々の感覚としては、同じ趣旨、同じ目的を持った会合に何度も何度も出席させられているという思いがありますから。増やすのではなくて一つにさせていただきたい。

末広町内会 次の担い手という意図があるなら、PTAを入れないといけないのでは。

民児協 若い人は仕事をしているから、今日みたいな平日の会議に参加できないのは当たり前。

事務局 中央区の他の地域運営委員会では、会議は夜や休日の基本です。松ヶ丘で何年も続いている毎月の円卓会議は第2木曜日の夜にやっており、若い方も女性も参加しています。40くらいの団体が参加し、一堂に会して各団体の状況を話していき、イベントの周知やボランティアの募集などもやっています。また、病院や淑徳大学とも連携して取り組んでいると伺っています。地域の状況は色々あると思うので、やり方も様々です。

地区連協 それだけ集まるということは、それだけ意義があるということなのでしょう。

事務局 補助金について補足ですが、これまで各団体がもらっていた補助金についても、統合されるため、流動的に運用ができるようになります。たとえば、高齢者対策や青少年育成委員会の活動に重きを置いてお金を持ってくるなど、そういう考え方もできます。

長洲二丁目自治会 避難所運営委員会からふくらましていけばいいのではないかと。

地区連協 避難所運営委員会の必要性はわかるが、それは難しい。

区 長 地域によって特性がありますので、末広に合ったやり方があると思います。星久喜についても、最初は情報共有に留めておいて、議論していく中でどう活動していくのかを決めるようです。同様の会議があるのであればそれは一つにするべきですし、新しいことを増やすのではなくて、整理していく方向で進めていけると良いと考えます。今日はあくまでも地域運営委員会が今こういう形で進んでいるという状況をお伝えさせていただいたので、これを一步として、何度かご議論いただければと思います。

## 会議資料

- (1) 千葉市中央区地区別データ（末広中学校区）
- (2) 地域運営委員会制度概要
- (3) 地域運営委員会活動事例（13地区）

## 当日の様子

